

# 行政視察研修 委員会・会派

## 市民環境常任委員会

特産品づくり及び道の駅運営

平成20年1月29日、埼玉県秩父市の視察を行いました。

平成17年4月に4市町村が合併し、人口7万2000人の新市となった秩父市では、従来の地域特産品に加えて新たな発想により安心で安全なお菓子作りをスタートさせました。市の木であるカエデに着目し、それから採取できるメイプルシロップを題材にしたお菓子作りです。

国・県や大学などの支援や補助を有効に活用した事業形態は本市における今後の特産品開発に参考となりました。

道の駅「ちちぶ」は、秩父地方への訪来者対応策として、7年前にスタートした施設です。運営方針や業務形態などを学ぶ良い機会でありました。



道の駅「ちちぶ」にて

## 鴻創会

雲仙市の「未来を開く農業日本一の雲仙」の取り組み

半島特有の小区画、傾斜地での形態が、高品質、高収量栽培技術への取り組みや高収益作物への転換を重ねる原動力になっており、競争力のある農家をはぐくむ要因になっている。

都市部の部マニフェスト、経営マニフェスト改革について。市長のマニフェスト実現のために、取り組みの課題を政策ミツ

シヨンとして捉え、各部長がその課題解決のために、今後具体的に取り組む事項を掲げたものです。戦略的な行政運営による市民満足度の向上を目的としています。その他、宮崎市のフローランテ宮崎の視察を行いました。



フローランテ宮崎にて

## 鴻巣フロンティア

上田市小児初期救急センター

長岡市震災対策

1月22日、23日、長野県上田市、新潟県長岡市を視察しました。上田市は、

救急センターを開設しました。

同センターと病院との連携が図られ、安心して子育てができる環境と言えます。診療は夜8時から11時迄。診療対象は15歳迄です。長岡市は平成16年10月23日に新潟県中越地震、平成19年7月16日には新潟県中越沖地震に見舞われ、大きな被害を受けました。中越地震の被害状況は、死者12人、負傷者2108人、建物被害6万753件です。長岡市では震災後、災害に強い都市を目指し防災体制の強化に取り組んでいます。

## クリーン・ネット21

交流センター事業

子ども虐待防止

平成20年1月31日、2月1日、北上市の交流センター事業を視察しました。

交流センター事業は長引く景気低迷や国の構造改革に伴い、予想を超える市税収入の落ち込みとなり財源不足の状況から88項目の改革プランを推進し市民参画と協働のもと、交流センター事業を立ち上げたものです。

多賀城市の子ども虐待防止について視察しました。子ども虐待防止に早期に取り組むきっかけは、転出した住民について転出先の部署より虐待の疑いがあるが前例は、との問い合わせがあり、調査不十分で対応できなかった、前例のあった家庭は注視し続けること些細な情報が未然防止の手がかりとなっています。



洪水ハザードマップを使っての説明風景

平成16年4月応急的な診療を行う施設として、上田市等医師会や長野病院と協力し、小児初期



北上市沢尻西地区交流センターにて